

平成23年8月17日

(照会先)

品質管理部長 伊藤 誠一

(電話直通 03-6892-0752)

経営企画部広報室

(電話直通 03-5344-1110)

報道関係者 各位

事務処理誤り等(平成22年4月分～平成23年3月分)について

平成22年4月分から平成23年3月分までの事務処理誤り等の件数等について、別添のとおりお知らせいたします。この内容は、これまで毎月公表してきた事務処理誤り等の件数等を整理したものです。

なお、日本年金機構においては、引き続き、事務処理誤り等の再発防止に努めてまいります。

事務処理誤り等（平成 22 年 4 月分～平成 23 年 3 月分）について

I 概 要

日本年金機構（本部及び年金事務所等）における公的年金業務の事務処理誤り及び業務上発生した事件・事故（以下「事務処理誤り等」という。社会保険庁時代のものを含む。）について、平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月に、本部担当部署及び年金事務所等の事務処理誤り等の詳細な報告が完了したもの及びシステム事故等の詳細な報告が完了したものを取りまとめたもの。

・これらの事務処理誤り等については、被保険者等の関係者から公表を控えるよう強く要請されない限り、原則として、その事案の概要等を公表します。今回取りまとめた 2,578 件のうち、公表可能な 2,105 件及びシステム事故等 12 件については、各月分の公表事案としてその概要を日本年金機構HP http://www.nenkin.go.jp/new/press_release/jimusyori.htmlに掲載しています。

・また、今回取りまとめた 2,578 件のうち、社会保険庁時代に発生した事務処理誤り等が 817 件（31.7%）であり、機構発足以降に発生した事務処理誤り等は 1,761 件（68.3%）となっています。

II 状 況

〔 以下の分析については、システム事故等を除く事務処理誤り等の 2,578 件を対象としています。 〕

1 事務処理区分別件数

○ 事務処理誤り等の事務処理区分別件数の内訳を見ると、2,578 件のうち、「確認・決定誤り」が最も多く（793 件（30.8%））、以下、「未処理・処理遅延」（486 件（18.8%））、「入力誤り」（320 件（12.4%））、「事故等」（243 件（9.4%））、「説明誤り」（236 件（9.2%））、「誤送付・誤送信」（213 件（8.3%））の順となっている。

- | | |
|---|--------------|
| (1) 受付時の書類管理誤り | 20 件（0.8%） |
| 〔郵送や窓口で受領した書類の担当部署への回付漏れ等、受付時の誤り〕 | |
| (2) 確認・決定誤り | 793 件（30.8%） |
| 〔届書内容の確認誤り、金融機関等のコード記入誤り等、事実関係の誤認や法令の適用誤り〕 | |
| (3) 未処理・処理遅延 | 486 件（18.8%） |
| 〔審査決定すべき届書の未処理、社会保険オンラインシステムへの入力漏れ、日本年金機構本部への進達漏れ、関係部署からの返戻書類の未処理等〕 | |
| (4) 入力誤り | 320 件（12.4%） |
| 〔数字や氏名等の入力誤り、一部項目の入れ違い等、入力時の誤り〕 | |
| (5) 通知書等の作成誤り | 136 件（5.3%） |
| 〔様式誤り、記載事項誤り等、出力・作成時等の誤り〕 | |
| (6) 誤送付・誤送信 | 213 件（8.3%） |
| 〔別の送付先への書類混入等の誤送付、誤送信、誤交付等、配付時の誤り〕 | |

(7) 説明誤り	236 件 (9.2%)
〔窓口、電話等での制度説明誤り、申請書等の指示誤り等、相談時の誤り〕	
(8) 受理後の書類管理誤り	73 件 (2.8%)
〔受理した申請書、添付書類の紛失等〕	
(9) 記録訂正誤り	58 件 (2.2%)
〔別人の記録を訂正、別人の記録を統合〕	
(10) 事故等	243 件 (9.4%)
〔身分証明書等の紛失、不適正な事務処理等、通常の業務処理の流れの中での誤りには該当しないもの〕	
合計	2,578 件 (100.0%)

2 制度等別件数

○ 事務処理誤り等の制度等別件数の内訳を見ると、2,578 件のうち、「年金給付関係」が最も多く（1,020 件（39.5%））、以下、「厚生年金適用関係」（525 件（20.3%））、「国民年金徴収関係」（472 件（18.3%））の順となっている。

(1) 厚生年金適用関係	525 件 (20.3%)
(2) 厚生年金徴収関係	131 件 (5.1%)
(3) 国民年金適用関係	226 件 (8.8%)
(4) 国民年金徴収関係	472 件 (18.3%)
(5) 年金給付関係	1,020 件 (39.5%)
(6) 船員保険関係	1 件 (0.1%)
(7) その他	203 件 (7.9%)
合計	2,578 件 (100.0%)

3 制度等別・事務処理区分別内訳

○ 事務処理誤り等の制度等別・事務処理区分別件数の内訳を見ると、2,578 件のうち、「年金給付関係」の「確認・決定誤り」が最も多く（402 件（15.6%））、以下、「その他」の「事故等」（198 件（7.7%））、「年金給付関係」の「説明誤り」（190 件（7.4%））の順となっている。

表 1 制度等別・事務処理区分別内訳一覧表

	受付時 の書類 管理誤 り	確認・ 決定誤 り	未処理・ 処理遅 延	入力誤 り	通知書 等の作 成誤り	誤送付・ 誤送信	説明誤 り	受理後 の書類 管理誤 り	記録訂 正誤り	事故等	計
厚生年金 適用関係	2 (1)	105 (14)	124 (20)	117 (19)	14 (0)	118 (14)	6 (1)	22 (3)	11 (6)	6 (2)	525 (80)
厚生年金 徴収関係	1 (0)	66 (17)	22 (5)	16 (3)	7 (1)	14 (5)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	131 (32)
国民年金 適用関係	1 (0)	87 (15)	54 (6)	35 (7)	9 (0)	17 (1)	5 (2)	4 (1)	13 (3)	1 (0)	226 (35)
国民年金 徴収関係	8 (2)	131 (11)	126 (9)	65 (11)	49 (5)	30 (6)	34 (7)	15 (3)	1 (0)	13 (2)	472 (56)
年金給付 関係	8 (1)	402 (99)	159 (37)	87 (27)	55 (10)	34 (6)	190 (36)	30 (6)	33 (11)	22 (9)	1,020 (242)
船員保険 関係	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
その他	0 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	198 (25)	203 (28)
計	20 (4)	793 (156)	486 (78)	320 (67)	136 (18)	213 (32)	236 (46)	73 (13)	58 (20)	243 (39)	2,578 (473)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

4 事務処理誤り等の原因

- 事務処理誤り等の原因別件数の内訳を見ると、2,578 件のうち、「確認不足」が最も多く (1,798 件 (69.7%))、以下、「届書等の放置」(391 件 (15.2%))、「その他」(251 件 (9.7%))、「適用・認識誤り」(138 件 (5.4%)) の順となっている。

(1) 原因別件数

- ① 確認不足・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,798 件 (69.7%)
〔窓口装置操作の際にキータッチ等を誤ったもの・入力を漏らしていたもの、通知書等の封入封緘時における内容物や宛先の確認を漏らしていたもの等〕
- ② 適用・認識誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138 件 (5.4%)
〔法令や通知等に係る解釈を誤っていたもの、理解が不足していたもの等〕
- ③ 届書等の放置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・391 件 (15.2%)
〔本来行うべき処理を多忙や失念により適切な時期までに処理を行わなかったもの〕
- ④ その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・251 件 (9.7%)
〔不正行為、不適正な事務処理、事故等〕

合計 2,578 件 (100.0%)

(2) 原因別・事務処理区分別内訳

表 2 原因別・事務処理区分別内訳一覧表

	受付時の書類 管理誤り	確認・ 決定誤り	未処理・ 処理遅延	入力誤り	通知書 等の作成誤り	誤送付・ 誤送信	説明誤り	受理後の書類 管理誤り	記録訂 正誤り	事故等	計
確認不足	12 (3)	732 (146)	123 (18)	314 (67)	120 (16)	211 (32)	178 (36)	44 (6)	57 (20)	7 (5)	1,798 (349)
適用・認識誤り	1 (0)	46 (7)	10 (3)	6 (0)	15 (2)	2 (0)	56 (9)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	138 (22)
届書等の放置	7 (1)	11 (3)	353 (57)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (4)	1 (0)	0 (0)	391 (65)
その他	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (3)	0 (0)	235 (33)	251 (37)
計	20 (4)	793 (156)	486 (78)	320 (67)	136 (18)	213 (32)	236 (46)	73 (13)	58 (20)	243 (39)	2,578 (473)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

(3) 原因別・制度等別内訳

表 3 原因別・制度等別内訳一覧表

	厚生年金 適用関係	厚生年金 徴収関係	国民年金 適用関係	国民年金 徴収関係	年金給付 関係	船員保険 関係	その他	計
確認不足	410 (60)	106 (28)	176 (31)	343 (44)	759 (184)	0 (0)	4 (2)	1,798 (349)
適用・認識誤り	14 (3)	5 (1)	9 (1)	18 (1)	92 (16)	0 (0)	0 (0)	138 (22)
届書等の放置	94 (15)	18 (3)	40 (3)	96 (9)	142 (34)	0 (0)	1 (1)	391 (65)
その他	7 (2)	2 (0)	1 (0)	15 (2)	27 (8)	1 (0)	198 (25)	251 (37)
計	525 (80)	131 (32)	226 (35)	472 (56)	1,020 (242)	1 (0)	203 (28)	2,578 (473)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

5 事務処理誤り等による影響

- 事務処理誤り等による影響額別件数の内訳を見ると、2,578 件のうち、「影響額なし」が最も多い（1,318 件（51.1%））ものの、「影響額あり」が1,260 件（48.9%）あり、そのうち影響額が100 万円以上のものは178 件（6.9%）、500 万円以上のものは49 件（1.9%）であった。
- 影響の区分で見ると、未徴収事案が359 件（総額1.6 億円、平均額45.9 万円）、未払い事案が352 件（総額3.7 億円、平均額103.8 万円）、過払い事案が247 件（総額3.3 億円、平均額132.4 万円）となっている。

（1）事務処理誤り等による影響額別内訳

表 4 事務処理誤り等による影響額別一覧表

影響額	厚生年金 適用関係	厚生年金 徴収関係	国民年金 適用関係	国民年金 徴収関係	年金給付 関係	船員保険 関係	その他	計
影響額なし	292 (45)	52 (17)	129 (17)	230 (31)	435 (96)	1 (0)	179 (23)	1,318 (229)
1 万円未満	15 (0)	20 (5)	24 (5)	90 (9)	24 (6)	0 (0)	2 (0)	175 (25)
1 万円以上 5 万円未満	33 (4)	12 (2)	21 (3)	46 (4)	70 (22)	0 (0)	13 (2)	195 (37)
5 万円以上 10 万円未満	20 (3)	9 (1)	14 (3)	12 (0)	56 (14)	0 (0)	1 (0)	112 (21)
10 万円以上 50 万円未満	88 (17)	15 (3)	30 (6)	80 (10)	222 (60)	0 (0)	1 (1)	436 (97)
50 万円以上 100 万円未満	27 (2)	6 (2)	6 (1)	6 (0)	68 (14)	0 (0)	2 (0)	115 (19)
100 万円以上 500 万円未満	44 (6)	13 (2)	2 (0)	8 (2)	106 (18)	0 (0)	5 (2)	178 (30)
500 万円以上	6 (3)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (12)	0 (0)	0 (0)	49 (15)
計	525 (80)	131 (32)	226 (35)	472 (56)	1,020 (242)	1 (0)	203 (28)	2,578 (473)

（注1）（ ）内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

（注2）影響額の区分は、事務処理誤り等によって年金や健康保険等の給付、保険料徴収額等に影響のあった額を表示した。

（注3）影響額の区分欄の「影響額なし」とは、①誤送付などで年金や健康保険等の給付額、保険料徴収額等に影響のないもの、②賞与支払届の金額を誤って入力したが、保険料納付までに保険料納付額を訂正できたものなどで年金や健康保険等の給付、保険料徴収額等に影響のないものをいう。また、影響額の未確定のものも「影響額なし」とする。

(2) 事務処理誤り等による事象別内訳

表 5 事務処理誤り等による事象別一覧表

事 象	件 数	総額 (円)	平均金額 (円)
過払い (年金等の額を多く払いすぎた件)	247	326,971,480	1,323,771
未払い (年金等の額を少なく支払った件)	352	365,445,292	1,038,197
過徴収 (保険料金額を多く徴収した件)	171	95,142,969	556,392
未徴収 (保険料金額を少なく徴収した件)	359	164,785,225	459,012
誤還付 (保険料金額を誤ってお返しした件)	43	31,759,929	738,603
その他	88	98,031,719	1,113,997
計	1,260	1,082,136,614	858,839

(注1) 「表5 事務処理誤り等による事象別一覧表」は、「表4 事務処理誤り等による影響額別一覧表」の「影響額なし」以外の内訳を表示した。

(注2) 「総額 (円)」は、事務処理誤り等によって年金や保険料徴収額等に影響のあった額の合計金額を表示した。

(注3) 「その他」の内訳は以下のとおりである。

過払いと未払いがある件	28 件	71,401,209 円	未払いと誤還付がある件	4 件	1,002,845 円
過払いと過徴収がある件	5 件	1,938,286 円	過徴収と未徴収がある件	12 件	5,469,769 円
過払いと未徴収がある件	9 件	4,864,205 円	過徴収と誤還付がある件	2 件	1,589,248 円
過払いと誤還付がある件	4 件	4,566,884 円	未徴収と誤還付がある件	1 件	44,760 円
未払いと過徴収がある件	6 件	3,868,029 円	詐欺による被害	16 件	2,052,850 円
未払いと未徴収がある件	1 件	1,233,634 円			

6 事務処理誤り等の判明契機

- (1) 日本年金機構内部で判明・・・・・・・・・・・・・・・・ 789 件 (30.6%)
- (2) 日本年金機構外部からの通報等により判明・・・・・・・・ 1,659 件 (64.4%)
- (3) その他 (事件・事故等)・・・・・・・・・・・・・・・・ 130 件 (5.0%)

合計 2,578 件 (100.0%)

Ⅲ システム誤りに伴う事故等

影響額なし	6 件	0 円
過払い	3 件	94,379,058 円
未払い	2 件	365,997 円
過払いと未払いがある件	1 件	2,146,739 円

12 件 96,891,794 円

Ⅳ 日本年金機構の取組

日本年金機構においては、事務処理誤りについて、職員から再発防止策や業務改善に係る意見募集を行った上で、その対策を検討し、可能なものから順次、業務改善を行うとともに、研修等により事務処理誤りの防止に努めています。

《平成22年度の取組状況》

- 事務処理誤りの再発防止のため現場第一線の職員からの改善提案や、各種届書の受付処理・進捗管理についての特別自主点検、特別監査の結果などを踏まえ、平成22年7月に「事務処理誤り総合再発防止策」を取りまとめ、以下の取組を実施しました。
 - ・ 届書の受付控えの交付対象の拡大、未処理届書の確認・点検の実施、マニュアル改正時などにおける勉強会の実施、ファックス送信誤りの防止、記録統合誤り防止の実施、老齢年金繰下げ意思確認書の実施
 - ・ バーコードを活用した届書などの受付、届書の進捗管理を行う受付データ進捗管理システムの構築に向けて、業務要件などを検討し、基本計画書を策定
 - ・ 「国民年金被保険者資格取得届にかかるシステム改善」を含む10件の基本計画書の策定
- 職員や現場によって業務処理が異なることのないよう、全国統一的な業務の標準化を図るため、随時業務処理マニュアルを改正しました。
- また、業務処理マニュアルの徹底を図ることを目的として、ブロック本部のマニュアルインストラクター全員を対象とした研修を実施しました。

《平成23年度の取組》

- 平成23年度においては、事務処理誤りについて、可能な限りその発生を抑制するため、平成22年7月に取りまとめた「総合再発防止策」に基づき、関連するシステム開発などの各種取組を進めるとともに、業務の標準化を進めています。

事務処理誤り等（平成 22 年 1 月分～平成 23 年 3 月分）について

日本年金機構発足以降、事務処理誤り等として公表したものの状況は、次のとおりとなっています。

・平成 21 年度（平成 22 年 1 月から平成 22 年 3 月までの公表分）	291 件
・平成 22 年度（平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの公表分）	2,578 件
合 計	2,869 件

I 状 況

（以下の分析については、システム事故等を除く事務処理誤り等の 2,869 件を対象としています。）

1 事務処理区分別件数

- (1) 受付時の書類管理誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24 件（0.8%）
〔郵送や窓口で受領した書類の担当部署への回付漏れ等、受付時の誤り〕
- (2) 確認・決定誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 857 件（29.9%）
〔届書内容の確認誤り、金融機関等のコード記入誤り等、事実関係の誤認や法令の適用誤り〕
- (3) 未処理・処理遅延・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 531 件（18.5%）
〔審査決定すべき届書の未処理、社会保険オンラインシステムへの入力漏れ、日本年金機構本部への進達漏れ、関係部署からの返戻書類の未処理等〕
- (4) 入力誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 384 件（13.4%）
〔数字や氏名等の入力誤り、一部項目の入れ違い等、入力時の誤り〕
- (5) 通知書等の作成誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150 件（5.2%）
〔様式誤り、記載事項誤り等、出力・作成時等の誤り〕
- (6) 誤送付・誤送信・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 256 件（8.9%）
〔別の送付先への書類混入等の誤送付、誤送信、誤交付等、配付時の誤り〕
- (7) 説明誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 261 件（9.1%）
〔窓口、電話等での制度説明誤り、申請書等の指示誤り等、相談時の誤り〕
- (8) 受理後の書類管理誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88 件（3.1%）
〔受理した申請書、添付書類の紛失等〕
- (9) 記録訂正誤り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66 件（2.3%）
〔別人の記録を訂正、別人の記録を統合〕
- (10) 事故等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 252 件（8.8%）
〔身分証明書等の紛失、不適正な事務処理等、通常の業務処理の流れの中での誤りには該当しないもの〕

合計 2,869 件（100.0%）

2 制度等別件数

(1) 厚生年金適用関係	615 件	(21.4%)
(2) 厚生年金徴収関係	151 件	(5.3%)
(3) 国民年金適用関係	256 件	(8.9%)
(4) 国民年金徴収関係	509 件	(17.7%)
(5) 年金給付関係	1,126 件	(39.3%)
(6) 船員保険関係	2 件	(0.1%)
(7) その他	210 件	(7.3%)

合計 2,869 件 (100.0%)

3 制度等別・事務処理区分別内訳

表 1 制度等別・事務処理区分別内訳一覧表

	受付時の書類 管理誤り	確認・ 決定誤り	未処理・ 処理遅延	入力誤り	通知書 等の作成誤り	誤送付・ 誤送信	説明誤り	受理後の書類 管理誤り	記録訂 正誤り	事故等	計
厚生年金 適用関係	3 (1)	118 (16)	140 (23)	139 (24)	15 (0)	141 (19)	8 (1)	29 (4)	15 (6)	7 (2)	615 (96)
厚生年金 徴収関係	3 (0)	70 (20)	27 (6)	18 (4)	12 (4)	16 (6)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	151 (41)
国民年金 適用関係	2 (1)	93 (16)	56 (6)	39 (8)	13 (1)	23 (2)	6 (3)	8 (2)	15 (4)	1 (0)	256 (43)
国民年金 徴収関係	8 (2)	142 (15)	131 (10)	74 (12)	50 (5)	33 (6)	39 (7)	18 (3)	1 (0)	13 (2)	509 (62)
年金給付 関係	8 (1)	432 (111)	176 (40)	113 (40)	58 (10)	43 (11)	207 (42)	31 (6)	35 (12)	23 (9)	1,126 (282)
船員保険 関係	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
その他	0 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	205 (27)	210 (30)
計	24 (5)	857 (178)	531 (86)	384 (88)	150 (22)	256 (44)	261 (53)	88 (15)	66 (22)	252 (41)	2,869 (554)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

4 事務処理誤り等の原因

(1) 原因別件数

- ① 確認不足・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,015 件 (70.2%)
 [窓口装置操作の際にキータッチ等を誤ったもの・入力を漏らしていたもの、通知書等の封入封緘時における内容物や宛先の確認を漏らしていたもの等]
- ② 適用・認識誤り・・・・・・・・・・・・・・・・ 156 件 (5.4%)
 [法令や通知等に係る解釈を誤っていたもの、理解が不足していたもの等]
- ③ 届書等の放置・・・・・・・・・・・・・・・・ 438 件 (15.3%)
 [本来行うべき処理を多忙や失念により適切な時期までに処理を行わなかったもの]
- ④ その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 260 件 (9.1%)
 [不正行為、不適正な事務処理、事故等]

合計 2,869 件 (100.0%)

(2) 原因別・事務処理区分別内訳

表 2 原因別・事務処理区分別内訳一覧表

	受付時の書類 管理誤り	確認・ 決定誤り	未処理・ 処理遅延	入力誤り	通知書 等の作成誤り	誤送付・ 誤送信	説明誤り	受理後の書類 管理誤り	記録訂 正誤り	事故等	計
確認不足	13 (4)	789 (168)	133 (19)	377 (88)	133 (19)	254 (44)	195 (40)	49 (7)	65 (22)	7 (5)	2,015 (416)
適用・認識誤り	1 (0)	53 (7)	11 (3)	7 (0)	16 (3)	2 (0)	64 (12)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	156 (26)
届書等の放置	10 (1)	11 (3)	387 (64)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (5)	1 (0)	0 (0)	438 (73)
その他	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	10 (3)	0 (0)	244 (35)	260 (39)
計	24 (5)	857 (178)	531 (86)	384 (88)	150 (22)	256 (44)	261 (53)	88 (15)	66 (22)	252 (41)	2,869 (554)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

(3) 原因別・制度等別内訳

表 3 原因別・制度等別内訳一覧表

	厚生年金 適用関係	厚生年金 徴収関係	国民年金 適用関係	国民年金 徴収関係	年金給付 関係	船員保険 関係	その他	計
確認不足	484 (73)	119 (35)	200 (38)	370 (49)	837 (219)	1 (0)	4 (2)	2,015 (416)
適用・認識誤り	15 (3)	7 (2)	11 (2)	21 (1)	102 (18)	0 (0)	0 (0)	156 (26)
届書等の放置	108 (18)	23 (4)	44 (3)	103 (10)	159 (37)	0 (0)	1 (1)	438 (73)
その他	8 (2)	2 (0)	1 (0)	15 (2)	28 (8)	1 (0)	205 (27)	260 (39)
計	615 (96)	151 (41)	256 (43)	509 (62)	1,126 (282)	2 (0)	210 (30)	2,869 (554)

(注) () 内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

5 事務処理誤り等による影響

(1) 事務処理誤り等による影響額別内訳

表 4 事務処理誤り等による影響額別一覧表

影響額	厚生年金 適用関係	厚生年金 徴収関係	国民年金 適用関係	国民年金 徴収関係	年金給付 関係	船員保険 関係	その他	計
影響額なし	345 (54)	64 (23)	147 (22)	245 (31)	478 (112)	1 (0)	186 (25)	1,466 (267)
1万円未満	17 (0)	20 (5)	27 (5)	93 (10)	26 (7)	0 (0)	2 (0)	185 (27)
1万円以上 5万円未満	39 (4)	14 (3)	25 (3)	60 (8)	76 (25)	0 (0)	13 (2)	227 (45)
5万円以上 10万円未満	25 (4)	10 (2)	16 (4)	13 (0)	62 (17)	1 (0)	1 (0)	128 (27)
10万円以上 50万円未満	100 (21)	16 (4)	31 (7)	82 (11)	249 (70)	0 (0)	1 (1)	479 (114)
50万円以上 100万円未満	37 (3)	8 (2)	7 (1)	7 (0)	74 (14)	0 (0)	2 (0)	135 (20)
100万円以上 500万円未満	46 (7)	14 (2)	3 (1)	9 (2)	115 (21)	0 (0)	5 (2)	192 (35)
500万円以上	6 (3)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (16)	0 (0)	0 (0)	57 (19)
計	615 (96)	151 (41)	256 (43)	509 (62)	1,126 (282)	2 (0)	210 (30)	2,869 (554)

(注1) ()内は、非公表とした事案の件数を再掲したものである。

(注2) 影響額の区分は、事務処理誤り等によって年金や健康保険等の給付、保険料徴収額等に影響のあった額を表示した。

(注3) 影響額の区分欄の「影響額なし」とは、①誤送付などで年金や健康保険等の給付額、保険料徴収額等に影響のないもの、②賞与支払届の金額を誤って入力したが、保険料納付までに保険料納付額を訂正できたものなどで年金や健康保険等の給付、保険料徴収額等に影響のないものをいう。また、影響額の未確定のものも「影響額なし」とする。

(2) 事務処理誤り等による事象別内訳

表 5 事務処理誤り等による事象別一覧表

事 象	件 数	総額 (円)	平均金額 (円)
過払い (年金等の額を多く払いすぎた件)	274	383,740,938	1,400,514
未払い (年金等の額を少なく支払った件)	398	395,522,609	993,775
過徴収 (保険料金額を多く徴収した件)	195	130,722,876	670,374
未徴収 (保険料金額を少なく徴収した件)	391	174,115,096	445,307
誤還付 (保険料金額を誤ってお返しした件)	54	34,615,117	641,021
その他	91	98,147,057	1,078,539
計	1,403	1,216,863,693	867,330

(注1) 「表5 事務処理誤り等による事象別一覧表」は、「表4 事務処理誤り等による影響額別一覧表」の「影響額なし」以外の内訳を表示した。

(注2) 「総額 (円)」は、事務処理誤り等によって年金や保険料徴収額等に影響のあった額の合計金額を表示した。

(注3) 「その他」の内訳は以下のとおりである。

過払いと未払いがある件	28 件	71,401,209 円	未払いと誤還付がある件	4 件	1,002,845 円
過払いと過徴収がある件	5 件	1,938,286 円	過徴収と未徴収がある件	15 件	5,585,107 円
過払いと未徴収がある件	9 件	4,864,205 円	過徴収と誤還付がある件	2 件	1,589,248 円
過払いと誤還付がある件	4 件	4,566,884 円	未徴収と誤還付がある件	1 件	44,760 円
未払いと過徴収がある件	6 件	3,868,029 円	詐欺による被害	16 件	2,052,850 円
未払いと未徴収がある件	1 件	1,233,634 円			

6 事務処理誤り等の判明契機

(1) 日本年金機構内部で判明	859 件	(30.0%)
(2) 日本年金機構外部からの通報等により判明	1,874 件	(65.3%)
(3) その他 (事件・事故等)	136 件	(4.7%)

合計 2,869 件 (100.0%)

II システム誤りに伴う事故等

影響額なし	7 件	0 円
過払い	3 件	94,379,058 円
未払い	2 件	365,997 円
過払いと未払いがある件	3 件	13,416,519 円

15 件 108,161,574 円